

2019年12月14日～2019年12月20日

2019年12月24日

先週の回顧

カナダ・ドルは、対円で上昇しました。また、カナダ5年国債利回りは上昇しました。

カナダの金利は、物価指標の上振れや米債利回りが上昇したことを背景に上昇したものの、発表された経済指標が予想を大幅に下回ったことから上昇幅を縮小しました。カナダ・ドルは、原油価格の上昇もあり対円で小幅に上昇しました。

経済指標では、CPI（消費者物価指数）や小売売上高、卸売上高が発表されました。CPIは市場予想通りとなりましたが、コアCPI（中央値）に関しては、市場予想を上回る強い結果となりました。小売売上高は市場予想に反して減少し、卸売上高も市場予想を大幅に下回る結果となりました。

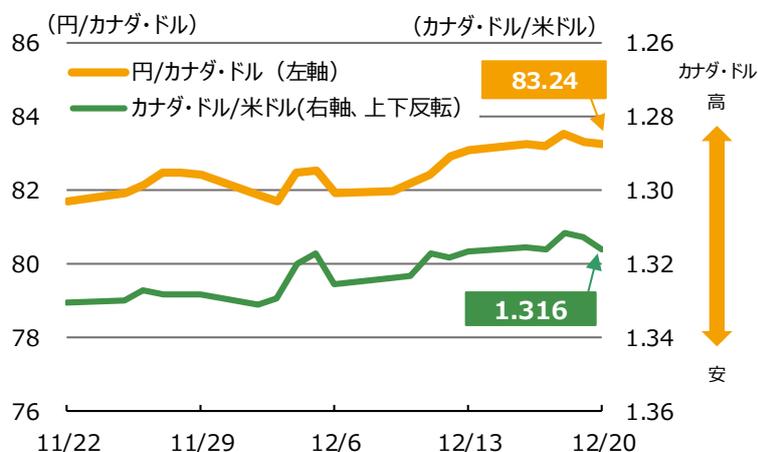
今週の見通し

今週、カナダでは23日（現地）にGDP（国内総生産）の発表があり、前月比ベースで市場予想に反して8カ月ぶりの減少となりました。米国自動車企業のストライキによる影響が重石となったようです。

足元では、USMCA（米国・メキシコ・カナダ協定）の実施法案が米下院で可決されており、上院で可決される公算も高くなっています。USMCAが発効されればカナダ経済を押し上げることが予想されるため、米議会の動向には注目が集まります。

カナダ・ドル 為替推移

(2019年11月22日～2019年12月20日)

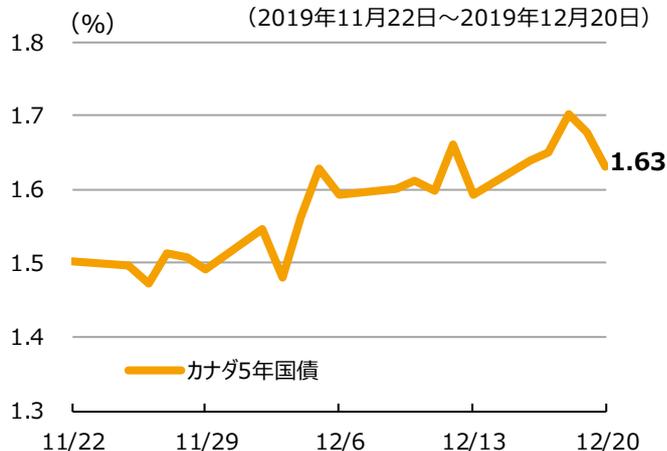


※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

カナダ 金利推移

(2019年11月22日～2019年12月20日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。